

校長室から

「川村文雄ピアノコンサートに寄せて」

丸岡中学校創立50周年記念事業の最後を、本校の卒業生でピアニストの川村文雄さんに締めくくっていただきました。久しぶりに会う川村さんからは、本校在学中と変わらず、謙虚で誠実な人柄が感じられました。

この日は、丸岡南中学校の全校生徒と教職員のみなさんも、バスに乗って来てくださいました。久しぶりに1,200名近くの生徒が集まり、会場の体育館は、以前のマンモス校丸中にタイムスリップしたような熱気に包まれました。

川村さんの演奏がはじまると、体育館はさながらコンサートホールに様変わりしたようでした。川村さんのピアノを聞いていると、ピアノに川村さんの人間性が乗り移っているような、まさに人柄が滲み出ているように思いました。また、川村さんが弾いてくださった丸中と丸岡南中の校歌は、弾く人によってこんなにもイメージが変わってしまうのかと思ひ知らされました。両校の生徒たちにとっては、とても新鮮な感じがしたのではないかと思います。

川村さんが最後に弾いた曲、リストの「ラ・カンパネラ」には、聴衆が酔いしれている様子が分かりました。多くの人々が固唾をのんで、聞き入っている姿がそこにはありました。川村さんが生徒たちに語ってくれた「好きなことを見つけること」つまり、「好きこそ物の上手なれ」という言葉は、彼らの心の奥底にしっかりと刻みつけられたように思います。川村さんが好きなことだからこそピアノを続け、その中でもぶつかってきた悩みや困難を克服して演奏している姿に、多くの人々が心を動かされたのだと思います。

丸岡中学校にこんなに素晴らしい先輩がいる。このコンサートを通して、両校の生徒のみなさんが、川村さんから人生を生きる上での大切なヒントを得てくれたのではないかと思います。丸中の50周年を偉大な先輩に締めくくってもらったことに、心から感謝したいと思います。川村さん、ありがとうございます。これからもがんばってください。丸中の在校生と教職員みんなが、応援しています。

平成23年10月17日



うっとりする川村さんのピアノ演奏



川村さんのピアノ伴奏で歌った参加者全員による「ふるさと」の合唱
きっと思い出にのこることでしょう。